



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 近畿車輛株式会社

コード番号 7122 URL <http://www.kinkisharyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森下 逸夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 経理部長 (氏名) 益田 浩

TEL 06-6746-5231

四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	31,853	129.7	1,549	—	1,465	—	1,249	—
27年3月期第3四半期	13,870	79.2	△1,469	—	△1,328	—	△1,803	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 2,102百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 △64百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	18.15	—
27年3月期第3四半期	△26.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	51,837	32,818	63.3	476.75
27年3月期	54,150	30,718	56.7	446.21

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 32,818百万円 27年3月期 30,718百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(平成28年2月5日)公表いたしました「配当予想の修正(復配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	99.1	1,000	—	1,100	—	600	—	8.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	69,083,597 株	27年3月期	69,083,597 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	245,558 株	27年3月期	241,977 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	68,840,011 株	27年3月期3Q	68,844,534 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続については実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	P. 6
四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
4. 補足情報	P. 10
生産、受注及び販売の状況	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループ(当社及び連結子会社)における業績は、売上高が318億5千3百万円(前第3四半期連結累計期間売上高138億7千万円)と前年同期に比べ179億8千3百万円の増収となり、営業利益は15億4千9百万円(前第3四半期連結累計期間営業損失14億6千9百万円)となりました。また、経常利益は14億6千5百万円(前第3四半期連結累計期間経常損失13億2千8百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億4千9百万円(前第3四半期連結累計期間親会社株主に帰属する四半期純損失18億3百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①鉄道車両関連事業

国内向車両の西日本旅客鉄道株式会社向電車や仙台市交通局向電車、海外向車両のロサンゼルス郡都市交通局向電車等により、売上高は312億5千4百万円(前第3四半期連結累計期間売上高132億7千8百万円)となり、営業利益は16億8千8百万円(前第3四半期連結累計期間営業損失12億2千万円)となりました。

②不動産賃貸事業

東大阪商業施設及び所沢商業施設を中心に売上高は5億9千9百万円(前第3四半期連結累計期間売上高5億9千2百万円)となり、営業利益は5億1千9百万円(前第3四半期連結累計期間営業利益5億1千万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は518億3千7百万円(前連結会計年度末541億5千万円)と23億1千3百万円の減少となりました。流動資産は主に現金及び預金の減少により、321億7千2百万円(前連結会計年度末363億4千6百万円)と41億7千4百万円の減少となりました。固定資産は主に有形固定資産の増加及び投資有価証券の時価の上昇により、196億6千4百万円(前連結会計年度末178億3百万円)と18億6千万円の増加となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は190億1千8百万円(前連結会計年度末234億3千2百万円)と44億1千4百万円の減少となりました。流動負債は主に買掛金及び前受金の減少により、132億9百万円(前連結会計年度末178億6千4百万円)と46億5千4百万円の減少となりました。固定負債は58億8百万円(前連結会計年度末55億6千7百万円)と2億4千万円の増加となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は328億1千8百万円(前連結会計年度末307億1千8百万円)と21億円の増加となりました。その主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年11月5日発表の「決算短信」に記載致しました業績予想を下記のとおり変更しております。

(通期連結業績予想)

平成28年3月期通期 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	46,000	1,000	1,100	600
今回発表予想 (B)	44,000	1,000	1,100	600
増減額 (B - A)	△2,000	—	—	—
増減率 (%)	△4.3	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	22,103	△3,107	△2,986	△3,353

(修正理由)

主に米国子会社におけるロサンゼルス郡都市交通局向け車両の工事進捗遅れにより、売上の一部が来期に繰り下がるため、前回(平成27年11月5日)発表予想の売上高を修正しております。また、売上高減少に伴う利益減少があるものの各種コストダウンによる利益改善が見込まれるため、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回発表予想から変更しておりません。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,156	6,069
受取手形及び売掛金	4,508	3,099
仕掛品	19,718	19,789
原材料及び貯蔵品	763	841
その他	2,210	2,379
貸倒引当金	△10	△6
流動資産合計	36,346	32,172
固定資産		
有形固定資産	7,953	9,011
無形固定資産	83	80
投資その他の資産		
投資有価証券	8,972	10,060
その他	863	581
貸倒引当金	△69	△69
投資その他の資産合計	9,767	10,572
固定資産合計	17,803	19,664
資産合計	54,150	51,837

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,408	5,233
未払法人税等	25	31
前受金	6,440	4,567
賞与引当金	316	139
製品保証引当金	637	572
受注損失引当金	1,066	243
その他	1,969	2,422
流動負債合計	17,864	13,209
固定負債		
退職給付に係る負債	2,448	2,398
その他	3,118	3,410
固定負債合計	5,567	5,808
負債合計	23,432	19,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,252	5,252
資本剰余金	3,124	3,124
利益剰余金	17,767	19,016
自己株式	△98	△100
株主資本合計	26,045	27,294
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,554	4,283
繰延ヘッジ損益	3	11
為替換算調整勘定	1,545	1,597
退職給付に係る調整累計額	△431	△368
その他の包括利益累計額合計	4,672	5,524
純資産合計	30,718	32,818
負債純資産合計	54,150	51,837

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	13,870	31,853
売上原価	12,885	27,602
売上総利益	985	4,251
販売費及び一般管理費	2,454	2,702
営業利益又は営業損失(△)	△1,469	1,549
営業外収益		
受取利息	13	7
受取配当金	111	118
為替差益	12	-
雑収入	24	27
営業外収益合計	162	153
営業外費用		
支払利息	-	6
為替差損	-	132
雑支出	21	98
営業外費用合計	21	237
経常利益又は経常損失(△)	△1,328	1,465
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,328	1,465
法人税、住民税及び事業税	21	161
法人税等調整額	453	54
法人税等合計	475	216
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,803	1,249
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,803	1,249

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,803	1,249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,297	729
繰延ヘッジ損益	0	7
為替換算調整勘定	275	52
退職給付に係る調整額	165	63
その他の包括利益合計	1,739	852
四半期包括利益	△64	2,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64	2,102
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	鉄道車両 関連事業 (百万円)	不動産 賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	13,278	592	13,870	—	13,870
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	13,278	593	13,871	△0	13,870
セグメント利益又は損失(△)	△1,220	510	△709	△759	△1,469

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△759百万円は、各報告セグメントに帰属していない全社費用△759百万円であり、全社費用は当社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

日本(百万円)	北米(百万円)	アフリカ(百万円)	アジア(百万円)	計(百万円)
7,776	4,845	887	361	13,870

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ合衆国

(2) アフリカ………エジプト・アラブ共和国

(3) アジア……………中華人民共和国(香港)、アラブ首長国連邦

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	鉄道車両 関連事業 (百万円)	不動産 賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	31,254	599	31,853	—	31,853
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	31,254	600	31,854	△0	31,853
セグメント利益	1,688	519	2,208	△659	1,549

(注) 1 セグメント利益の調整額△659百万円は、各報告セグメントに帰属していない全社費用△659百万円であり、全社費用は当社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

日本(百万円)	北米(百万円)	アフリカ(百万円)	アジア(百万円)	計(百万円)
14,992	15,061	316	1,483	31,853

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ合衆国

(2) アフリカ………エジプト・アラブ共和国

(3) アジア……………中華人民共和国(香港)、カタール国、アラブ首長国連邦

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	28,289	132.8
合計	28,289	132.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	60,995	264.6	196,146	162.6
合計	60,995	264.6	196,146	162.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	31,254	235.4
不動産賃貸事業	599	101.2
合計	31,853	229.7

(注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

以上